



# 新たな活力を創造する長島を目指して

長島町議会議長 植元 敏光

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

旧年中は、町議会の運営に深いご理解と多大なるご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は山口・島根豪雨災害や台風26号による伊豆大島の土砂災害、福島第一原発のタンクでの汚染水漏れ、ホテルなどで食材偽装の発覚など暗いニュースが飛び交う中、東京が2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催都市に決定、富士山の世界文化遺産登録、「和食 日本人の伝統的な食文化」の無形文化遺産登録、新型ロケット「イプシロン」の打ち

上げ成功など、明るい話題に日本人として誇りを感じることもできる一年となりました。

日本経済は、安倍晋三内閣が「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」を基本方針に掲げ、いわゆるアベノミクスによる経済政策を進めてきました。昨年12月の月例経済報告では、景気の基調判断を「緩やかに回復しつつある」と表現し、デフレ脱却に向けて前進しています。

ただ、本年4月から消費税が8%へ引き上げられ、さらに10%へ引き上げることも予定されています。私たちの暮らしや国・地方の財政にどのような影響を及ぼすのか不透明であり、増税後の景気は不安な状況であ

るといえます。

昨年、長島町においては「第15回ながしま造形美術展」が過去最多の来場者数13万人を突破し、文化ホールリニューアル記念公演や「第3回夢追い長島花フェスタ」、「第6回長島おさかな祭り」など多彩な催しで賑わいを見せました。このような中、少子化傾向が続く獅子島小学校、幣串小学校が統合し、長島本島地区の学校統廃合に向けた検討も続けられています。また、大型宿泊施設や分遣所、防災行政無線（デジタル同報系）の整備など懸案事項も山積しています。

町議会は二元代表制の下で、町長やその他執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊

張ある関係を保ちながら、町民の皆さまの福祉の向上および町の発展に寄与していかねばなりません。

議会としては、昨年4月施行の『長島町議会基本条例』に掲げる理念の下、行政への監視および評価をはじめ独自の政策立案、議会意見交換会や議会中継システム更新などによる情報発信など、議会機能の一層の充実強化に取り組んでまいりました。

今後も、さまざまな町政課題の解決に向け、町民の皆さまの声を十分お聴きし、しっかりとした議論を重ねるとともに、夢を描き、新たな活力を創造する長島を目指して、町議会の改革、活性化に引き続き取り組みなが

ら、町民の皆さまの期待に応えるべく、誠心誠意尽くしてまいりる所存であります。

新春に臨み、町民の皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

(写真) 架橋から今年で40年を迎える黒之瀬戸大橋